

支部信より

178.5.10 日本野鳥の会
新潟県支部

再興の意氣高く 支部設立大会開く

快晴にめぐまれた4月23日(日)、新潟市駅前の自治会館で、再興の支部設立大会が盛大に開かれた。参加者は30名程で、ちと少なかつたが、それとれ 地域 やグループ、取扱で活躍しておられる方々で、お互い顔なじみが多くいた。

正面に東蒲グループで準備されたといふ 金色塗りのシンボルマークと設立大会の大きな横文字が掲げられていた。

大会は世話を人の渡部通氏の司会で始まり、発起人を代表して平賀晃氏が挨拶され た後、議長に清野辰氏を選出し、議事録署名人に曾我信男氏、書記局に渡部通氏よりなされ、特に昨年12月頃から支部再建が具体化して以来、今日までの短い期間内に設立大会にこぎつけたことがでてきたのは、支部の必要性を感じた会員の方々の協力の ためものであると報告された。

次いで支部規約の審議に入り、常山秀夫氏より規約原案の説明がなされ、一部修正して可決された。特に論議されたのは、準会員についてであつたが、これは別項のように集約決定された。

次に役員の選出に移り、山谷正喜氏より、支部長以下の推薦があり、承認された後、役員一同前に出て自己紹介を行った。そのあと、加藤支部長が挨拶に立ち、特に同じ目的で集う会員の新陳融和と支部運営の協力体制を強調された。

続いて日本野鳥の会(本部)の市田則考事務局長が本部を代表して祝詞を述べられた。新潟県は会員数多く、また人材も多いところだが、今回支部が再建されたことは喜びにたえない。今後種々の面で本部とタイアップして発展することを期待する旨と、日本野鳥の会のいろいろな構想や現況を報告された。

祝電披露 — 席を予定されながら、風邪のため欠席された上越市の竹内金治氏(3本)、日本野鳥の会福島県支部、東蒲自然同好会より、それとれ 祝電が寄せられ披露された。

このあと、各地域グループの現況報告に入り、「にいがた野鳥の会」の活動状況を千葉晃氏より、「じょうえつ野鳥の会」および「高田城跡の自然を守る会」の現況を山本明氏より、東蒲自然同好会の状況を渡辺弘雄氏よりされそれが報告された。

最後に加藤支部長の音頭で力強く万歳を三唱して閉会した。

石川日程外として、大会終了後、有志20数名(出席者の大部分)、市田事務局長を回して、会場を近くの「吉兵衛」に移して懇親会を開き、本日の設立大会の成功と今後の発展を期して乾杯し、鳥仲間の友情を暖め合いながら、野鳥や各地の話題に花を咲かせマタタクの一時を楽しく過した。

準備委員会は今後の検討に

大会前の発起人会でも論議されたが、準備委員会(日本野鳥の会)会員への加入に至らないで支部会員にとどまらず(主に中学生・高校生を予想)を準備委員として支部規約にうたうかとうかであつたが、多數意見として、今のところ規約にはうたわれないが、今後の課題として検討してゆくことになった。

発起人会——設立大会前にもにれに

設立大会当日の午前11時より、発起人会が開かれ、設立大会の運営、規約原案、役員などについて討議された。

当面の支部運営について——役員打合会

大会終了後、選出された役員は本部の市田事務局長を交え、さっそく当面の支部運営について打合会を開き、事務局として行うべき種々の手続きその他を決めた。また、事業については当面「鳥類繁殖地図調査」(「緑の国勢調査」)に力を注いで取り組むこととし、それが終った段階で役員会を開いて検討することになった。

※会費納入についてお願い (事務局より)

支部会費が1000円と決まりましたので、同封振替用紙で納入下さい。
なお、特に会費収書の必要な方以外は、振替領収書で代替させていただきます。